

# 独 標

西東京市立ひばりが丘中学校

第1学年

第14号

令和5年6月13日発行

## 運動会の作文その3

<敬称略>

### 「1位の意味」 1年C組

五月になって、中学校の生活によりやく慣れてきたころ、運動会の練習が始まった。中学生になって初めての運動会だから、楽しくて熱い、良い思い出になる運動会にしたかった。だから、小学校の時よりも集中して、一生懸命に練習した。

そんな中、一年生学年種目のいかだ流しの船頭が決まった。船頭は身軽ですばしっこい人がやることになっていた。船頭は私に決定して、さっそく練習が始まった。でも、私は人の上に乗るのも、上で走るのも怖くて、それでも選ばれたからにはやるしかなくて、やっぱりやるからには、一生懸命にやらないと！と、最終的にはたくさん落ちつつも、練習に取り組んだ。最初は確かに怖かったが、やっているうちに、だんだんと楽しくなってきた。いかだの人に、「もっとこうしたほうが良いよ。」「しっかり頭を下げてね。」などと、アドバイスをしながら練習をした。練習を重ねるうちに、私は乗る時のコツをつかみ、最初のうちには不安定だったいかだも、しっかりと安定するようになってきて、タイムも縮まっていることを実感した。やがて、竿を使った練習も始まり、みんなが一丸となって練習に取り組んだ。竿はバランスがとりづらく、扱いが難しかったが、クラスのみんなに励まされながら、何とか使いこなせるようになった。



迎えた本番、私たちのクラスは3位だった。私は悔しかったが、みんな清々しい顔で満面の笑みを浮かべながら「楽しかったね」と声をかけてくれた。その時、私は実感した。1位をとることが大切なのではないと。そして、一生懸命に取り組んだ人が本当の1位なのだ。

これからは、この運動会で学んだことを生かして、何事にも全力で取り組んでいきたい。



## 「中学校初めての運動会」 1年C組

僕は、この運動会をクラス全体で協力し、自分なりに全力を出し切ることを意識して取り組みました。中学校生活初めての運動会であり、小学生の時はコロナウイルスで運動会がなくなってしまっていたのでわからないことが多かったですが、体育行事委員がクラス全体を引っ張ってくれたので、運動会練習の時などに素早く行動することができました。



一年生の種目は、いかだ流し、全員リレー、選抜リレーの3つがあり、僕はその中でもいかだ流しと選抜リレーで特に頑張りました。いかだ流しでは、全員で力を合わせ、しっかりとしたいかだを作り、船頭さんが進みやすいように意識して取り組みました。最初はあまりうまくいかなかった部分が多かったけど、クラスで作戦を考えたり、声掛けをしたりしたことだんだんタイムが縮みました。本番ではクラスが一致団結し、全力でいかだ流しに取り組むことができました。また、いかだ流しだけではなく、選抜リレーも特に頑張りました。選抜リレーは全員リレーとは違い、1クラス8人で走るのだから並んでいるときはものすごく緊張しました。うまくいっているところやうまくいっていないところがあったので、休み時間や放課後の時間に走順を話し合いました。本番は1位や2位は取れなかったけど、クラスを背負って走ることができたんじゃないかなと思いました。

優勝や準優勝ではなかったけど、中学校初めての運動会を全力で取り組むことができました。今回の経験を今後の生活や来年の運動会に生かして、日々を全力で頂点をとる勢いで過ごしていきたいです。

